

登録コード	E2616900	開講年度	2026					
授業科目	球技					担当教員	瀧 直也	
英文授業名	Ball Game					副担当		
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・3 時限		対象学生	
講義室	教育第 1 体育館	教育第 2 体育館	授業形態	実技	遠隔授業科目		備考	
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					体育授業で児童・生徒にバレーボールを指導するに相応しい知識・技能を獲得することができる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					発達段階を想定したバレーボール（ネット型ゲーム）の指導上の留意点や教材づくりのポイントについて理解を深める。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	バレーボールの技術および戦術に関する段階的な練習を経た後に試合形式のゲームを行う。発達段階を想定したバレーボールを基にしたネット型ゲームを体験する。							
(5)授業計画	第 1 回：ガイダンス 第 2 回：パス練習（アンダーハンドパス）とミニゲーム 第 3 回：パス練習（オーバーハンドパス）とミニゲーム 第 4 回：サーブ練習，スパイク練習とミニゲーム 第 5 回：オーバーハンドパス，アンダーハンドパス，スパイクを用いた三段攻撃練習 第 6 回：バレーボールのルール（講義）、ゲームの流れと運営 第 7 回：ネット型ゲームの教材づくり（講義） 第 8 回：発達段階に応じたネット型ゲームの体験（小学校段階） 第 9 回：発達段階に応じたネット型ゲームの体験（中学校段階） 第10回：チームごとの課題練習 第11回：リーグ戦 第12回：リーグ戦のゲーム分析 第13回：トーナメント戦 第14 回：トーナメント戦と技能テスト							
(6)成績評価の方法	・ 体育授業で児童・生徒にバレーボールを指導するに相応しい知識・技能を獲得できたか、以下 2 点から総合して判定する。 学期末の技能テスト：50%， 学期末レポート：50% ・ 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀，89-80% 優，79-70% 良，69-60% 可，59%以下 不可。							
(7)成績評価の基準	（ ）問題の設定が適切である。（ ）その問題の背景を説明できている。（ ）その問題にどのような課題があるのかを指摘できている。（ ）それらの課題に対しての既存の学説が提示する解決法が適切に把握できている。（ ）その上で自分の見解を提示できている。以上（ ）から（ ）の 5 項目を満たしていれば「卓越している」。 4 項目を満たしていれば「かなり上にある」。 3 項目を満たしていれば「やや上にある」。 2 項目を満たしていれば「水準にある」。							
(8)事前事後学習の内容	・ 次の回で扱う運動について，学習指導要領解説書を用いて事前学習を行うこと ・ 行った運動について，その指導のポイントをまとめておくなど事後学習を行うこと							
(9)履修上の注意	・ 実技を中心とした授業形態であるため，授業への取り組みを重視する。							
(10)質問，相談への対応及び連絡先	授業の前後に随時対応する。緊急の連絡はメールで受け付ける。taki@shinshu-u.ac.jp							
【教科書】	適宜資料を配布する。							
【参考文献】	適宜資料を配布する。							